

## 動物園における SDGs 啓発の取り組み ～海洋プラスチック問題を題材とした講演会の実施～

○脇田 創司<sup>1)</sup>, 安部 慶太郎<sup>2)</sup>, 山口 進也<sup>1)</sup>, 深田 梨恵<sup>1)</sup>, 小倉 典子<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>よこはま動物園, <sup>2)</sup>のじま自然観察探見隊)

よこはま動物園では, SDGs 啓発活動の一環として, 海洋プラスチック問題を題材とし, プラスチック削減のための行動をおこすきっかけとなることを目的とした市民向け講演会「海の生き物 SOS トーク～かもめの暮らす海を考える～」を実施した。

参加者は 40 名の事前予約制で募集し, 海洋プラスチックによる海鳥への影響をテーマとして行った。

まず, 横浜の海の現状を知ってもらうために, 砂浜から採集した砂の中からプラスチック片を探す体験をしてもらった。続いて, 海洋プラスチックの特性や生き物への影響を紹介するとともに, 海の環境や生き物を守るために「私たちにできること」について話した。話の中では, 実際に海洋プラスチックによるケガのために横浜市内で保護され, 野生復帰ができなくなったウミネコをシンボルとして登場させ, この問題を身近に感じてもらう工夫をした。

講演会の前後で, 参加者の問題意識を図るアンケートを行ったが, 事後のアンケートでは「もっと簡単に環境に貢献できることがわかった」や「まずは生活の中で何ができるか考えたい」といった自発的な意識の変化があったという感想が多く寄せられた。

今後は, 参加者が海洋プラスチック問題の解消のために実際に行った行動についても調査するなど, SDGs 啓発をより推進していきたい。